

ティーチング・ステートメント

所属 北海道科学大学薬学部薬学科

名前 金田 京介

更新日 2023年3月22日

【責任】

医薬化学分野に所属し専門科目である有機化学を中心とした教育・研究活動を行っている。主たる教育活動は化学系関連科目（立体構造化学・有機化学・薬学基礎実習・総合演習など）の担当、卒業研究生の研究指導、学生の学修支援である。

【理念】

学生が自己の力で目標を達成した時の達成感を体験し、望みの職業につくことで幸福な人生を送って欲しいと願っている。学生は、様々な体験から得られた学びや気づき、そこから生まれた新しい価値観に基づき、行動すると考えている。変化が大きく速い時代、未来に向けて世の為人の為になる価値を創出できる、真の実力や力強さを持って生きていって欲しい。自身は学生の伴走者であり支援者となり、彼らが創出しようとする価値を共有していきたいと願っている。

【方針・方法】

上記の理念を実現するために、学生が目標を達成するための支援策として「効率的かつ確実に学力をつけ、国家試験に合格する」、真の実力や力強さを身につけるための支援策として「五感を使って学び、身につける」ことを方針としている。

方針1 「効率的かつ確実に学力をつけ、国家試験に合格する」

- ・ 講義の進行の適切な時期に、前年度の結果を踏まえた小テスト・試験を実施し短期目標の再確認と現時点での到達点を明確に示している
- ・ 試験のフィードバックを行い、間違いの多いポイントを整理して伝える
- ・ 講義時間は短めに設定し学生からの疑問に答えるように、質問時間を多く設けており、質問が出やすい雰囲気作りにも工夫をしている
- ・ とくに遠隔授業時は、質問には即座に対応している（チャットやメールなど）
- ・ 要点をまとめたプリントなど補足資料を作成している
- ・ 国家試験に出題された化学的な問題の動向を常に注視し傾向と対策を実施している

- ・卒業研究で学生と議論する時は、国家試験の内容（化学反応や機器分析方法）を加味しながら行っている

方針2「五感を使って学び、身につける」

- ・化学実験を通して目の前の物質に触れることで、その特性（色・形・匂い・危険さ）を体感してもらう

- ・学生ひとりひとりが手を動かしながら分子構造模型を組むことを実践しており、3次元構造物の実物を通して物質の立体構造の不思議や生体分子の緻密な設計などを学んでもらう

- ・実験実習では班ごとに学生同士の意見交換の場を設定し、実験データや考察を議論して他者から学ぶことを実践してもらう

【評価・成果】

- ・化学構造への興味が向上したとの学生アンケート結果を得た
- ・課題により理解が深まったとの学生コメントを得た
- ・実験を通じて化学の面白さを体験できたとの声があった
- ・講義終了後の質問者が以前よりも多くなった

【目標】

- ・短期的には、演習を通して学力の振るわない学生の底上げを実施したい（2023年度）
- ・長期的には、真に有用な人材と物質とを世の中に創出したい